



写真:甲府夏祭りの七夕飾り(平成30年7月3日撮影)

······ ⑥~⑴ページ

●常仕会員会番鱼の概要	(12)ペーシ
●審議結果/人事案件等	③ページ
■請願・陳情審査結果/意見書	(4)ページ
議会を傍聴して	⑤ページ
常任委員会の構成	16ページ

本会議はこの日程で進みますよ。

甲府市議会だよりNo.196の「議会 へのentrance 〜第3回 本会議を のぞいてみよう!!!~」に引き続き、 質問や討論、採決について先生と 生徒の会話を通してご紹介します。 ※entranceとは、入口という意味です。



最近、本会議の進め方が変わった ような気がするけど・・・?

甲府市議会では、市民の皆様にわかりやすい 議会運営とするために、平成30年3月定例会から 質問の時間と方式を変えました。





質問時間は、 どう変わったのかな?



これまでは質問と答弁を合わせた時間 となっていましたが、それを分けて 質問のみの時間にしました。

このことで、質問できる時間が明確に なりました。

また、答弁も途中で打ち切られたりする ことがなくなりました。



- *一括質問方式…質問項目すべてを質問し、 一括で答弁を行うことです。
- *分割質問方式…質問項目ごとに質疑応答を 行うことです。
- *一問一答方式…一問ごとに質疑応答を 行うことです。



質問方式は、 どう変わったの?



これまでの一括質問方式と一問一答方式の 2方式を整理し、分割質問方式を加えた 3方式としました。

~第4回 本会議をのぞいてみよう!!!~



採決って なんだろう?

採決とは、議長さんがそれぞれの 議員さんの賛成・反対の意思表示 を求め、それを集計することです。 甲府市議会では、平成30年3月定 例会より押しボタン式投票を正式 に導入し、採決しています。



議員さんが賛成・反対の意見を 言える時はないのかな?

採決の前にありますよ。 それを討論といって、 他の議員さんに自分の意見を 伝えることができます。





①議長さんが、出席議員さんに 賛成・反対の意思表示を求めます。

押しボタン式投票は、次のように進められます。



これより、押しボタン式 投票により採決いたします。



賛成の諸君は、賛成ボタンを 反対の諸君は、反対ボタンを お押し願います。

③議長さんが採決した結果を報告し、 賛成・反対が決定します。





②出席議員さんは、賛成・反対のボタンを押し、意思表示します。





よう全力で取り組んでまいり 民の皆様の期待に応えられる に、議会の活性化に努め、市 寄与するため、公正かつ透明 民福祉の向上と市政の発展に 力をお願い申し上げます。 な議会運営を推進するととも 今後も一層のご支援、ご協 議会といたしましても、 ました。 第11〇代副議長に選任され 例会において、第9代議長 私どもは、平成30年6月定

ころであります。 心から感謝申し上げるととも 向けた取組を展開していると 語」「国際交流」を市政の重点 新たに「健康づくり」「歴史物 まいる所存でございます。 感し、与えられた職務を全う に、その職務の重責を一層痛 ワードに加え、更なる発展に 中核市への移行を目前に控え、 こうふ開府500年の開幕 するため、誠心誠意努力して さて、甲府市においては、 誠に身に余る光栄であり



議場での選挙の様子

議会日誌

9月定例会の予定



甲府市議会は、6月定例会を6月4日から15日までの12日間の日程で行いました。

平成30年度甲府市一般会計補正予算(第1号)、甲府市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定についてなど、市長から

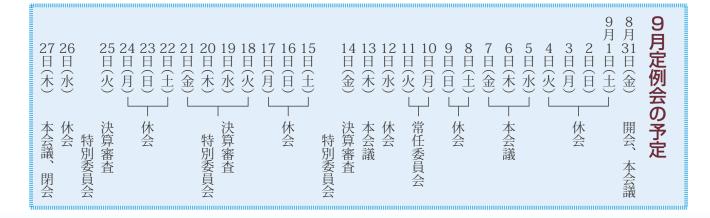
提案された 12 案件を審議し、すべて承認・可決・同意いたしました。

主な条例は、甲府市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定についてで、公職選挙法の一部改正に伴い、本市議会の議員選挙における選挙運動用ビラ作成の公費負担を定めるための改正を行うものです。

主な補正予算は、平成30年度甲府市一般会計補正予算(第1号)で、一般財団法人自 治総合センターのコミュニティ助成事業において、自治会が所有する山車及び放送設備の整 備等に対する補助が採択されたことに伴う補助金の補正等であります。

議会日誌

4月13日(金) 4月17日(火)	会派代表者会議議会制度調査研究会	6月8日(金)	本会議(質疑及び市政一般質問)
4月20日(金) 4月24日(火)	山梨県市議会議長会 都道府県庁所在都市議長会、	6月11日(月)-	」議会運営委員会、本会議(提案理 由の説明、各常任委員会付託)
7 7 12 7 13 (7 ()	関東市議会議長会	6月12日(火)	常任委員会(総務・民生文教)
5月21日(月)	議会制度調査研究会	6月13日(水)	常任委員会(経済建設・環境水道)
5月22日(火)	会派代表者会議	6月14日(木)	会派代表者会議
5月24日(木)	リニア中央新幹線調査研究会	6月15日(金)	議会運営委員会、本会議(各常任
5月28日(月)	6月定例会招集告示		委員長報告、採決)、議会運営委
5月30日(水)	議会運営委員会、会派代表者会議、		員会、本会議(正副議長選挙)、
	全国市議会議長会		各常任委員会、議会運営委員会、
5月31日(木)	議員互助会総会		本会議(提案理由の説明、採決)、
6月2日(土)	水源林植樹の集い		6月定例会閉会、会派代表者会議
6月4日(月)	6月定例会開会(提案理由の説明)、 甲府市議会議員政治倫理規程に 係る議員説明会、広報委員会	7月5日(木)	広報委員会



市長の政治姿勢について

伺います。

要であると考えますが、ご所見を

の誘客に結びつけていくことが重 継続的な施設利用や大都市圏から



政友クラブ

里山の利活用について

長沼

の里山や観光資源を活用し

「創作の森おびな」周辺

聞かせください。 目の任期最終年度をどのように取 い組んでいかれるのか、考えをお 実現に向けて、市長の1期 「笑顔あふれるまち」の

き市民の視点に立った市政運営を 活に身近な課題についても引き続 ほか、 健所の設置及び運営等に万全を期 500年の開幕に向けては、 行ってまいります。 施策についても重点的に取り組む す所存です。また、「健康づくり」 の皆様等と連携協力を図りながら することはもとより、こうふ開府 「歴史物語」「国際交流」に係る諸 一丸となって盛り上げていくとと ガス こうふ未来創り重点戦略 中核市移行に向けては、保 プロジェクトを着実に推進 福祉や教育等に係る市民生 市民

今ある諸課題に真摯に向き合いな がら笑顔あふれるまちの創生を目 任期の最終年度ではありますが、 全力を注いでまいります。

代表質問(分割) 達彦

ます。 事業を実施するとともに、コミュ 圏から多くの人を本市へ呼び込む 北部地域の豊かな観光資源の魅力 組内に甲府市のコーナーを企画し ニティFM「渋谷のラジオ」の番 ための第一弾として、米作り体験 結したNPO法人CQは、大都市 などについて情報発信を行ってい パートナーシップ協定を締 本市と地域創生に関する

進と北部地域全体の の協力を得ながら、更なる誘客促 今後も、 地元住民や関係団体等

開してまいります。 プロモーションを展 業の実施と効果的な う趣向を凝らした事 魅力向上に繋がるよ



一その他質問項目

こうふ開府500年記念誌の 集方針等について



創政こうふ (一括)

代表質問

勢で市政運営に臨んでいくのか、 重要な年にあたり、どのような姿 市政運営について 幕や中核市への移行など、 こうふ開府500年の開 清水

質問 **Q**

もと、 まいりました。 を目指した市政運営に取り組んで 考えをお聞かせください。 立ち向かい、笑顔があふれるまち 様々な行政課題に正面から 声を原点とする政治信念の 市長に就任以来、市民の

期における私に託された責務を全 と連携し、新たな100年に向け た歩みを着実に進めてまいります 民の皆様や関係の皆様としっかり を目前に控えていることから、市 スの向上はもとより、中核市移行 こうふ開府500年や市民サー 力で果たしていく所存です。 な取組を展開するなど、残りの任 物語」「国際交流」について具体的 として加えた「健康づくり」「歴史 また、新たな市政の重点ワード 任期の最終年度である今年度は Ė

リニア中央新幹線を活用 たまちづくりについ

くりを検討していくことが重要だ と考えますが、見解を伺います。 プランに沿って、4月にリ 甲府市都市計画マスター リニア駅近郊地域につい 本市が主体的にまちづ

じめ、 中で、 け皿づくりを提案したところであ 業などの土地利用方針 計画マスタープランにおける商 まいりたいと考えています。 強化を図りながら、着実に進めて 勤者の住宅や進出企業の施設の受 をリニア駅近接地域と位置付ける ニア活用基本構想に基づき、 エリアの全体について、甲府市リ 方針を立案し、リニア駅の徒歩圏 ニア駅近接地域のまちづくり整備 今後においても、リニア駅近郊 引き続き地域住民の皆様をは 山梨県が提唱するリニア通 山梨県や周辺市町との連携 都市

や農業振興計画との整

あるまちづくりを目指 境と調和のとれた魅力 してまいります。 合を図る中で、 その他質問項目 自然環

平成30年度の組織整備について

他

分割…質問項目ごとに質疑応答を行う。

-括で答弁を行う。

公

明

党 達也

代表質問(分割)

ついて

たいと考えています。

いじめ相談アプリの導入に

女性の活躍推進につい ていくためにも、 女性の活躍を更に加速し 国が実施 7 長沢

人について伺います。

を進めています。 けた支援を行ってきたところであ デルセミナーなど女性の活躍に向 と考えますが、見解を伺います。 かした主体的な取組が重要である する施策に加え、本市の特性を活 女性活躍加速のための施策の検討 今年度、 女性の起業に向けたロールモ 男女共同参画プランに基づ 本市では、第3次こうふ 職員体制を充実させ、

生きと暮らす社会を築いてまいり 施策を検討するとともに、多くの 野での活躍を後押しする絶好の機 活躍の場を見出し生涯に渡り生き 上の協力関係を築き、女性が自ら 女性団体や産業界等とこれまで以 会となる日本女性会議を誘致して の課題を検証する中で、効果的な いくことを決定しました。 こうした中、女性のあらゆる分 今後は、女性活躍に関する本市

> てのいじめ相談・報告アプリの導 ā いじめの撲滅・根絶に向け 本市のいじめの現状と、

努める中で、 やスクールカウンセラーによる教 委員会を中心に問題解決に取り組 育相談等を通じ早期発見・対応に 464件となっており、 んでいるところであります。 のいじめの認知件数は延べ 平成28年度の小中学校で 校内いじめ防止対策 養護教諭

する当面の考え方がまとめられ、 等を活用した相談体制の構築に関 います。 ガイドラインの策定が検討されて ては、文部科学省においてSNS いじめ相談アプリの導入につい

先進自治体の取組状況の情報収集 体制の有効性や課 に努め、 今後、 SNS等を活用した相談 国の動向を注視する中で、

ります。 題について調査 研究を進めてまい



一その他質問項目

• 外国人留学生との交流について 他



リニア駅近接地域のまちづ くり整備方針につい

策と、 の代替地の確保と税負担増につい て見解を求めます。 市街化区域編入に伴う農地 事業を進める上での水害対 乏しく撤回すべきと考えま 事業の必要性も実現性も

的に取り組んでまいります。 合わせた一体的な整備により効率 河川等の生活基盤施設と宅地とを 水計画を策定する中で道路、公園 また、代替地の確保と税負担増に 地利用の変化に対応した排 水害対策については、土

だきたいと考えており などのメリット・デメ 度の向上や税の負担増 についてご判断をいた 地区画整理事業の是非 十分なご理解の上で土 市と協働で研究を重ね、 リットについても、本 ついては「まちづくり研究会」にお て、土地利用の自由 **4 0.**

日本共産党 (分割)

代表質問 司朗 内藤

> 区域内の農地については、これまで 土地区画整理事業を希望されない

と同様に営農を継続していただけ

活用も可能であると考えています。 ることから、農地の代替地としての

教職員の多忙化解消について

伺います。 間勤務解消の対策について 教職員の勤務実態と長時

度から新たに、部活動指導員を導 ティア等の増員を行いました。 校閉庁日の設定、教育支援ボラン 入するとともに、夏季休業中の学 上等の視点から検討を進め、本年 会議や調査の効率化、 善対策検討委員会」を立ち上げ、 に 本市において、 「甲府市教員の多忙化改 事務能率向 昨年6月

むとともに、教職員の増員につい の把握を始めたところです。 員のより正確な勤務実態につい を活用することにより、本市教職 から開始した勤務時間管理の集計 てまいります。 て引き続き県教育委員会に要望 今後も、学校運営体制の見直 本市の教員の勤務実態は、6月 教職員の多忙化解消に取り組

その他質問項目

防災関係諸計画について 他

政友クラブ -般質問(一問一答)

政吉

山にかけてロープウェイを設置し 町付近から愛宕山山頂、更に大笠 設置について 愛宕山へのロープウェイの トを眺望できるよう、愛宕 県都甲府市の観光スポッ 出

する情報発信にも取り組んでいる 保全に努めるとともに、来訪に資 ところであります。 グ等の需要に対応するため、その ことができる自然豊かな環境にあ 近年増加しているトレッキン れ四季折々の景観を楽しむ 本市は、四方を山に囲ま

愛宕山へのロープウェイの設置に ついては、 愛宕山を観光資源として活用し 経営主

考えています。 理方法の検討など 課題が多いものと 体や多額な建設費 更には維持管



見を伺います。 てはいかがかと考えますが、ご所

ていくことは有用だと考えますが、

一その他質問項目

・農業政策について 他

観光のポイントを強く売

観光地の周遊について

及びバスの運行についての考えを り出すため、周遊観光のPR

蛾滝ナイトツアー等を実施したと 滞在型観光の推進を図るため、昇 仙峡アクティビティ事業として仙 ころであります。 設し、多様な観光資源を活かした 観光支援事業費補助金を創 本市では、甲府市着地

業者との情報交換等を行う中で引 とを改めて認識したところです。 多く周遊観光バスの需要が高いこ 府えんじょいバス」を運行し、 遊観光を促しているところです。 デルコースの情報発信を行い、 徒歩や路線バスで巡る33種類のモ 歴史散策ガイドブック等において ては、甲府市観光ガイドブックや ついて、社会実験の分析やバス事 については、社会実験として「甲 ンケート調査では好意的な意見が 今後は、周遊観光バスの導入に また、観光地を巡るバスの運行 また、周遊コースのPRについ 研究してまいります。 ア 周



政友クラブ 般質問 (分割)

100日前イベントについて こうい開府500年記念事業

これまでの500日前、300日前 関連事業について考えを伺います 100日前の目的、趣旨: ンイベント100日前では 9月23日のカウントダウ カウントダウンイベント

機運の醸成を図ってまいります。 ズニーの仲間たちが参加します。 東京ディズニーリゾートからディ 市民みんなのパレードを実施し、 主役となって参加していただく、 深めることを目的として、市民が 更に、9月24日には、春風亭昇太 また、ふるさと甲府への愛着を

深沢 健吾 の充実について 小中学校における道徳教育 ていただきたいと考えています。

「道徳の教科化」の取組

状況と、今後の道徳教育に

践が進められています。 り組むとともに、地域人材を講師 仲間との意見交換などを通して 的な学習などを取り入れながら、 ており、問題解決的な学習や体験 の教科「道徳」の授業が実施され に招いた学習など、工夫された実 ついて見解を伺います。 「考え・議論する道徳」の授業に取 いて、教科書を使った特別 本年度から各小学校にお

とに行動し、自立し 生き方を考え、主体的な判断のも 重点目標である「思い遣る心の育 の一層の連携を図る中で、 本市では、学校教育指導重点の を中核に据え、家庭や地域と 自己の

等を実施するなど、100日後に迫

い雰囲気に演出し、音楽会や舞踏会

るこうふ開府500年への一層の

代のロマン風情あふれる昔懐かし

ほか、県庁噴水広場を明治・大正時 のストーリー性を踏まえ、式典等の

ともにより良く生き 教育の充実に取り組 ていくことができる た人間として他者と 引き続き道徳

その他質問項目

んでまいります。

催し、甲府城の歴史を学ぶととも

に、日本伝統芸能の落語を堪能し

さんによる「城歩きのススメ」を開

放課後児童クラブの充実について 他

政友クラブ 般質問(分割) 藤原伸

郎

いて 子どもの居場所づくりにつ

問 ついての見解を伺います。 場所づくりと、その拡充に 本市が考える子どもの居

事業を実施しています。 場所となる放課後児童クラブ等の 子どもたちの安全・安心な居 な働き方などに柔軟に対応 本市では、保護者の多様

でき、 場の存在は非常に大切と考えてい もにとっても気軽に集まることが を踏まえ、課題を抱えている子ど 様々な課題が顕在化している状況 く環境は変化しており、子どもの います。 貧困や基本的生活習慣の乱れなど、 そのような中、子どもを取り巻 世代を超えた交流ができる

担い手の育成や支援に取り組んで うな場の整備にも関われるような 子ども支援センターにおいて、地 いきたいと考えています。 域の実態を把握する中で、このよ 今後、 開設する予定の (仮称)

> クールソーシャルワーカーに期待 部の支援に繋げる役割を果たすス の増員と必要性について スクールソーシャル 増員すべきと考えますが、 えた家庭の児童・生徒を外 貧困や虐待等の問題を抱 ヴー カー 見

多様な方法を用いて問題解決への 機関の継続的な支援に繋げるなど 対応を図っています。 的な支援等を行うとともに、専門 との面談や家庭訪問等による具体 校との連携を図りながら、保護者 できない困難な事例に対して、学 解を伺います。 1名を配置し、学校だけでは対応 有するスクールソーシャルワーカー 等の専門的な知識や技能を 平成28年度から社会福祉

署との連携や役割分 徒の状況、専門機関や庁内関係部 今後は、支援が必要な児童・生



シャルワーカーの適 中で、スクールソー 担について検証する

正

配置について検討

してまいります。





一その他質問項日

整備方針について リニア駅近接地域のまちづくり 他

やがて「こうふモデル」ともいう

まち」の健康づくりへと繋がり、

こうふ」が目指す「人」「地域

交流が可能になり、

「元気City



創政こうふ (分割)

の設置について 仮称)子ども支援センター

と地域の拡大を検討すべきと考え

る地域おこし協力隊の職種

地域活動の活性化に繋が

a

ジュールも含めて伺います。 問 向性について、今後のスケ 開所に向けての体制と方

おり、担い手の育成では、民間の 握した上で関係各所と緊密な連携 様々な立場や年齢層の方々による するとともに、地域に結びつける などの担い手を掘り起こし、育成 の成長を支援したいボランティア を図り事業を開始したいと考えて る学校があることから、実情を把 仕組みづくりを行っていきます。 ノウハウを活用する中で、子ども ース事業では、既に取り組んでい 大きく2つあり、学用品等のリユ この仕組みづくりを進める中で 当センターでの事業としては、 た準備を鋭意進めています 現在、早期の開設に向 け

般質問 大輔 と地域の拡大につい 地域おこし協力隊員の職 べき形態に発展させたいと考えて ます。

望月

種

ますが、 要綱を改正したところです。 るため、農業以外の職種でも協力 隊員を活用できるよう本年4月に の促進や地域力の維持・強化を図 いたことから、更なる移住・定住 力隊員の活動が農業に限定されて 活動を行っていますが、協 現在、 見解を伺います。 2名の協力隊員が

北地域における事 していくとの考えから、まずは南 地域振興に向けた可能性を生み出 者の感性を取り入れることにより 著である南北地域に目を向け、若 人口減少や少子高齢化の傾向が顕 協力隊員の活動地域については

業効果を高めてい でいきたいと考え くことに力を注い



その他質問項目

市税の納付手段の拡充について 他

(分割)

中学・ 高校の運動部活動に

般質問

創政こうふ 憲稔

保や、 います。 では大いに寄与するものと考えて 育サービスが行われ、労働力の確 まえたあり方について伺います。 女性の社会進出といった面 様な就労形態に対応する保 ットと本市の地域特性も踏 企業主導型保育所は、多 企業主導型保育所のメリ

保を確認しているところです。 監査を行うため立入調査を行い、 児童福祉法の規定に基づく指導・ 否に本市の関与はありませんが、 外の保育施設であるため設置の可 適正な保育内容及び保育環境の確 一方、設置にあたっては、認可

うにしています。

外部指導者の積極的登用を図り、

生徒の技術向上の要望に応えるよ

合わせる中で、適 することとされたことから、本市 正な設置となるよ のあるべき「保育の量」と照らし や保育ニーズに関し摺り合わせを 設置にあたり設置基準

う努めてまいりま

企業主導型保育所について 向山 が、生徒の目線に立った部活動の できる環境整備が必要と考えます るにあたり、生徒が変わらず努力 部活動の練習時間を抑制す

指導における専門性を高めるため、 習会が実施されはじめています。 を対象とした競技団体等による練 バスケットボール等では、中学校 ろですが、生徒のニーズを踏まえ、 的な部活動に取り組んでいるとこ 休養日を設定し、効率的かつ効果 あり方について伺います。 また、甲府商業高校では、競技 原則として週2日部活動の 現在、各学校においては

てまいります。 備のあり方について調査・研究し び高校期におけるスポーツ環境整 単位とした活動や学校と地域の協 今後においては、複数の学校を ・融合による運営など、 中学及

一その他質問項目

・リニア駅周辺の住民や関係自治体 との信頼関係の構築について



教員の多忙化解消として

党 公 明 般質問 (分割)

援について 介護予防の観点で必要な支

型サービスのモデルとして参考と 市が検討している住民主体の通 での介護予防の活動は、現在、 と考えますが、見解を伺います。 団体を支援していくことは重要だ わり会」のような地区単位 高齢者が行うボランティア 伊勢地区における「ひま 健康寿命の延伸に繋がる 所 本

的に発信してまいります。 等への支援については、参加者の 支援策を整理し、その情報を積極 よる食事づくり等、 保健師による健康教育や栄養士に 介護予防が更に促進されるように 人変心強く感じております。 高齢者が行うボランティア団体 本市としての

めていきたいと考えています。 により「地域の健康づくり」を広 りに取り組む活動を支援すること 今後も、地域ぐるみで健康づく

弘仁

知について

佐野

住民自治の観点から高齢

際にご利用いただいています。 いて、相談やケアマネジメントの 介護支援事業所、民生委員等にお 包括支援センターをはじめ、居宅 支援やサービスの内容を掲載した と考えますが、見解を伺います。 会関係等の皆さんに使いやすい 認知症ケアパス」を作成し、地域 一認知症ケアパス」の配布が必要だ や症状に応じて受けられる 者に接する機会の多い自治 本市では、認知症の状態

機関に配布してまいります。 考に今年度中に改訂版を作成し、 認知症地域支援推進員の意見を参 成から2年が経過したことから、 自治会関係の皆様をはじめ、 この「認知症ケアパス」は、

なり、元気な高齢者が支える側と

して主体的に活動していることに

り続けることがで きる環境整備に努 尊厳ある生活を送 めてまいります。 意思が尊重され、

今後も、認知症になっても本人



一その他質問項目

ついて 市営住宅退去時の基準や対応に

認知症対策の取組内容の

がら現行制度を維 てまいります。 に支援を必要とする世 の負担軽減に努め

るところです。 今後においても、 真

により給食費への助

ては、

本市独自の就学援助制度

支援が必要な準要保護世帯につ



特定健康診査での

聴力

が検査の

実

他

一その他質問項目

学校給食費の無料化について 解を求めます 制度が広がっており、 国で保護者負担を軽減する 学校給食費について、 学校給食費につ

も無料化すべきと考えますが、 本市とし 1) ては、 7

学校給食法により給食の実

7億800万円となってい を算出すると、 されており、 ける児童・生徒の保護者の負担と の負担であり、 の運営経費は、 施に必要な施設、 平成29年度の食材費 小中学校合計で約 食材費は給食を受 設置者である本市 設備や人件費等 います。

引き下げるために この原則を遵守してまいります。 を繰り入れることは適当でない 運 うとされております。 ているため、 営等の観点から、 の確保や健全な介護保険財政 国におい て、 被保険者間 本市においても 一般会計 介護保険料 の財 の公 0

日本共産党 一般質問(分割) 木内 直子

度また介護保険料

ń

不安の声

が

般会計からの 介護保険料

を

介護保険料の負担軽減につ

引き下げるべきと考えますが、 繰り入れ等を行い、 いて 上がっています。 引き上げら

解を伺います。 祖割合は65歳以上の保険料が 国民が助け合う制 介護保険 は、 40 度であ 歳以 Ĺ

全

度を支えるためにお支払 12・5%と決められています。 付費の23%、 高齢者の保険料は、 市町村の一 介 般財源 護保険 17 17 ただ 制 $\overline{\mathcal{O}}$ り

甲府市議会のご案内

くものであるため、

一部の自治体

|民による助け合いの精神を損

般会計から繰り入れることは、

介護保険料を減免し、

その

分

~甲府市議会の活動についてお知らせしています~

甲府市議会ホームページ

URL http://www.city.kofu.yamanashi.jp/ shise/gikai/index.html 議員名簿、議会の日程、審議結果、 本会議等の会議録、 議長交際費、政務活動費、

甲府市議会だよりなどを 発信しています。

<モバイル>



インターネット中継&テレビ中継

甲府市議会のホームページから 本会議の様子を生中継や 録画中継で見ることができます。 また、本会議を、 NNS (10ch) で生中継 しています。



甲府市議会 Facebook

調査研究会の様子や本会議の質問議員など 甲府市議会の情報を発信しています。





甲府市議会だより

自治会などを 通じて配布するほか、 甲府市役所本庁舎、 各窓口センターなどに 置いてあります。 2月、5月、8月、 11 月に発行します。



常任委員会審査の概要

常任委員長報 告 要 旨

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

民生文教委員会

◆議案第52号 甲府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の 一部を改正する条例制定について

放課後児童支援員の資格要件の拡大により教員等の資格のない方が増加する可能性があり、 質の確保が保証できるか懸念されるため反対で あるとの意見と、5年以上放課後児童健全育成 事業に従事し、必要な研修を終了した方であれ ば支援員として認められることにより、その経 験を業務に生かすことができるようになること から賛成であるとの意見があり、採決の結果、 多数をもって当局原案のとおり可決するものと 決しました。

- ◆議案第56号 工事請負契約の締結について 全員異議なく当局原案のとおり可決するもの と決しましたが、事故防止のため、安全対策に 万全を期すよう求める意見がありました。
- ◆議案第53号 甲府市後期高齢者医療に関する 条例の一部を改正する条例制定について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局 原案のとおり可決するものと決しました。

環境水道委員会

◆議案第49号 平成30年度甲府市水道事業会 計補正予算(第1号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、プロポーザル方式による委託 業者の選定にあたっては、障害者雇用率や労働 条件等も評価に反映し、市民サービスの一層の 向上につながるよう求める意見がありました。



総務委員会

◆議案第51号 甲府市市税条例等の一部を改正 する条例制定について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、市たばこ税については、新たに加熱式たばこの区分が創設されたことから、納めていただいた税金が市民生活の向上につながるよう、より一層の有効活用を求める意見と、設備投資に係る新たな固定資産税特例の導入については、中小企業者が制度を活用することで地域経済の活性化につながることから、制度の趣旨等をしっかりとPRしていくよう求める意見がありました。

- ◆議案第46号 専決処分について(平成29年度 甲府市一般会計補正予算(第10号)) 他1案 2案については、いずれも全員異議なく当局 原案のとおり承認するものと決しました。
- ◆議案第50号 甲府市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について 他1案2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。
- ◆議案第54号 固定資産評価員の選任について 全員異議なく当局原案のとおり同意するもの と決しました。

経済建設委員会

◆議案第55号 市道路線の認定について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局 原案のとおり可決するものと決しました。



人事案件等

平成30年6月定例会審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政 友 クラブ	創 こうふ	公明党	日 本 共産党	社 会民主党	無所属
議案第46号	専決処分について(平成29年度甲府市一般会計補正予算(第10号))	6月15日	承認	0	0	0	0	0	0
議案第47号	専決処分について(甲府市市税条例の一部を改正する 条例制定について)	//	//	0	0	0	0	0	0
議案第48号	平成30年度甲府市一般会計補正予算(第1号)	//	可決	0	0	0	0	0	0
議案第49号	平成30年度甲府市水道事業会計補正予算(第1号)	//	//	0	0	0	0	0	0
議案第50号	甲府市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の 公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定につ いて	//	//	0	0	0	0	0	0
議案第51号	甲府市市税条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	0	0	0	0	0	0
議案第52号	甲府市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	//	//	0	0	0	×	0	0
議案第53号	甲府市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する 条例制定について	//	//	0	0	0	0	0	0
議案第54号	固定資産評価員の選任について	//	同意	0	0	0	0	0	0
議案第55号	市道路線の認定について	//	可決	0	0	0	0	0	0
議案第56号	工事請負契約の締結について	//	//	0	0	0	0	0	0
議案第57号	監査委員の選任について	//	同意	0	0	0	0	0	0
日程追加	議長選挙について	//	当選	投票の結果 第99代議長当選者 大塚義久					
日程追加	副議長選挙について	//	//	投票の結果 第110代副議長当選者 長沼達彦					
甲議第4号	大規模太陽光発電施設の設置に係る法整備を求める意 見書提出について	//	可決	0	0	0	0	0	0
甲議第5号	常任委員会委員の選任について	//	選任	0	0	0	0	0	0
甲議第6号	議会運営委員会委員の選任について	//	//	0	0	0	0	0	0
日程追加	甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙 について	//	当選	0	0	0	0	0	0
日程追加	甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の補欠 議員の選挙について	//	//	0	0	0	0	0	0

○賛成 ×反対

政友クラブ ◎荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久 廣瀬集一 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康

長沼達彦 小澤 浩 末木咲子 深沢健吾 藤原伸一郎 鮫田光一

創政こうふ ◎桜井正富 金丸三郎 清水 仁 山中和男 天野 一 小沢宏至 望月大輔 向山憲稔

公 明 党 ◎兵道顕司 中村明彦 植田年美 佐野弘仁 長沢達也

日本共産党 ◎内藤司朗 清水英知 木内直子

社会民主党 山田 厚

無 所 属 神山玄太

◎は会派代表者

- ◆常任委員会委員の選任者…16ページに掲載
- ◆議会運営委員会委員の選任者

委員長 原田洋二 副委員長 佐野弘仁

荻原隆宏 池谷陸雄 岡 政吉 坂本信康 桜井正富 清水 仁 小沢宏至 長沢達也 内藤司朗 神山玄太

- ◆甲府地区広域行政事務組合議会議員の補欠議員の選挙当選者
 - 鈴木 篤 兵道顕司
- ◆甲府・峡東地域ごみ処理施設事務組合議会議員の補欠議員の選挙当選者 天野 —
- ●全国市議会議長会及び山梨県市議会議長会より
- 在職 15 年表彰 清水 仁 荻原隆宏
- ●山梨県市議会議長会より 2年以上正副議長経験表彰 清水 仁



平成30年6月定例会請願 陳情審查結果

	番	号	件名	付託委員会	結 果				
	第27-	6号	沖縄県民の声に共感し地方自治の堅持を国会と政府に求める意見書提出を 求める請願	総 務	継続審査				
	第28-	1号	安全保障関連法の廃止、または再検討を求める意見書の提出を求める請願	//	//				
請	第28-	6号	「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書」の提出を求め る請願	//	//				
	第29-	4号	共謀罪法(テロ等準備罪処罰法)廃止のための意見書提出を求める請願	//	//				
願	第29-	5号	共謀罪(テロ等準備行為処罰)法の廃止を求める意見書提出の請願	//	//				
	第29-	6号	国民健康保険財政の都道府県化に係る意見書採択についての請願	民生文教	//				
	第29-	7号	国民健康保険の都道府県単位化に向けての請願	//	//				
	第29-	8号	国民健康保険の都道府県単位化にかかわる請願	//	//				
	第30-	2号	政府に核兵器禁止条約に参加し批准する意見書の提出を求める請願	総 務	//				
陳情	第30-	1号	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求 める陳情	総 務	継続審査				

可能エネルギーの導入を推准 価格買取制度を創設し、 気の調達に関する特別措置法 (FIT法)」に基づき、 再生 固定

はないことから、対応に苦慮

可能な限り低減するという基 化を進めつつ、原発依存度を た省エネルギー(節電)の推 を同時達成する中で、徹底し 本方針が掲げられている。 大限の導入、火力発電の効率 また、政府においては、2 再生可能エネルギーの最

012年7月に「電気事業者 による再生可能エネルギー電 り、 的な設置規制が行えるもので ているところであるが、直接 に基づき事業者へ指導を行っ イドライン」やその他法令等 め、現在、 も多数発生している。このた ルとなる事例が県下において に対する不安を招くこともあ 「太陽光発電施設の適正導入ガ 地域住民との間でトラブ 山梨県が策定した

に係る法整備を求める意見書 **大規模太陽光発電施設の設置** 太陽光発電は、二酸化炭素

いる。 ネルギー源として期待されて 地球温暖化の防止や新たなエ ない再生可能エネルギーで、

の排出がなく、枯渇の恐れの

力の需給構造について、安全 が国における2030年の電 ルギー需給見通し」では、我 省が取りまとめた「長期エネ 2015年7月に経済産業

生活環境への影響や土砂災害 発電施設の設置が地域住民の 林開発等を伴う大規模太陽光 は増加を続けている一方、 でいるところである。 こうした中で、太陽光発電 Щ

び環境適合に関する政策目標

安定供給、経済効率性及

等を整備すること。 2 基準や施工管理に関する基準 安全性を確保するための設計 するため、太陽光発電施設の ○提出先 地域住民の住環境を保全 と。

等への影響評価などを事業者 協議、並びに景観や自然環境 意形成、地元自治体との事前

の義務とする法整備を行うこ

してきた。

意

見

化対策導入促進助成金制度 ルギーの地産地消に取り組ん ムの導入促進を中心に、エネ を活かし、太陽光発電システ 行うなど、恵まれた日照条件 ステムの導入に対する助成を を設けて住宅用太陽光発電シ るとともに、「甲府市地球温暖 館へ太陽光発電設備を設置す として、市内の小中学校体育 設への太陽光発電導入事業 づき、「民間活力による公共施 球温暖化対策実行計画」に基 本市においても「甲府市地

> について強く要望する。 で推進できるよう、次の事項 景観面等との調和の取れた形 滑にし、住環境・自然環境 住民との間での合意形成を円 において、事業者と自治体 大規模太陽光発電施設の整備 しているのが実状である。 よって、国におかれては 地域住民への説明及び合

衆議院議長

国土交通大臣 農林水産大臣 内閣総理大臣 参議院議長 環境大臣 経済産業大臣 総務大臣

を傍聴



東海大学付属甲府高校の3年1組40人が、 平成30年6月定例会を傍聴しました。

です。 あり、傍聴していて楽しかった 感じましたが、和やかな場面も 井口紗来 テレビで観るような緊張感も さん

るようになればいいなと思いま や若者にもっと傍聴してもらえ なかったように感じます。 たちのような学生など若者は少 未来の甲府のためにも、学生 傍聴者は、高齢者が多く、 私

伊藤 月 さん

私は今回の傍聴を通して、

Z

性化に努めてくださっているこ 女性の方が安心して働ける環境 放課後児童クラブを充実させ. 市民が安心して暮らせるように とを知りました。 んなにも多くの人が甲府市の活 また、活性化だけではなく、

治に参加していきたいと思いま つようになるので、 私も18歳になり、 積極的に政 選挙権を持

話していたのが印象的でした。

質問の内容に繋げるように

私たちはもうすぐ選挙権を持

ましたが、ただ話すだけではな

に少し話をしてから質問してい

議員の皆さんが質問をする前

をつくっていることを知りまし

名取愛結

さん

荻野隼人 さん

主な感想

意 見

ました。 づくりが議員の皆さんの意見に より発展していると改めて感じ 議会を傍聴して、甲府のまち

た。

られる人を選びたいと思いまし

加して、自分たちの未来を任せ

てる年齢になります。

選挙に参

は動いていると思いました。 など、一つ一つの案について細か く答弁されていて、私たちのまち 働き方改革、甲府市の農業政策

ってほしいと思いました。 がどのように変わっていくか知 たくさんの市民の方に、まち

杉田 駿 さん

様々な角度から質問・意見をし を議員の皆さんが深く考え、 ちを少しでも良くしていく方法 の生活に繋げていきたいです。 ます。この貴重な体験をこれから 近に感じることができると思い ていたのが印象的でした。 これから、より一層市議会を身 私たちが過ごしているこのま

> 森 玲奈 さん

ディズニーパレード、 しました。 も考えてくれているんだと感動 れていて、甲府のことを誰より 盛り上げるための話し合いもさ 太さんとの城歩きなど、甲府を こうふ開府500年に向け、 春風亭昇

もっとたくさんの観光客が訪れ ために、少しでも貢献したいで てくれるといいなと思います。 私自身、甲府を活気付かせる 甲府だけでなく山梨県全体に

緑が丘一丁目

浅野剛史

く行ってみると、議会が開かれてい

市役所の10階展望ロビーに何気な



傍聴のご感想を ください



備え付けの用紙を ご利用ください

お聴かせ

お聴かせください。 だくスペースを設置しています。 くため、本会議場の傍聴席出入口 にて傍聴のご感想を記入していた 本会議を傍聴されたご感想を 議会活動の参考とさせていただ

うぞ。」といった案内板を出してみ 思います。 てはどうでしょうか。 は議会を開いています。お気軽にど 多くの市民に傍聴してもらえたらと 論をされていると思います。もっと 会を傍聴しました。 を掛けていただいたので、 る事を知り、事務局の職員さんに声 例えば、市役所前の歩道に「今日 子どものための施策など、良い議 初めて議

声を掛けていただきありがとうご

ざいました。

常任委員会の構成

民生文教委員会

福祉保健部・子ども未来 部・市立甲府病院・教育 委員会、市民部のうち国 民健康保険に関するもの を調査します。



副委員長 向山憲稔



坂本信康





畄 政吉 政友クラフ



総務委員会

市長直轄組織・総務部・企 画部・市民部(国民健康保

険を除く)・会計室・議会

事務局・公平委員会・選挙

管理委員会・監査委員に関

するものを調査します。

長沼達彦 政友クラフ



副委員長

政友クラブ

鮫田光-

鈴木 篤



兵道顕司

大塚義久 政友クラフ



内藤司朗

経済建設委員会

産業部・建設部・農業

委員会に関するものを調

査します。



桜井正富 創政こうふ



員 金丸三郎 創政こうふ



望月大輔



藤原伸一郎 政友クラブ



清水英知 日本共産党



委 員 長沢達也 公明党

環境水道委員会

ШШ

社会民主党

厚

環境部・上下水道局に 関するものを調査します。

委員

原田洋二

神山玄太



副委員長 天野

委 員

池谷陸雄

佐野弘仁



委員長 山中和男



委 員 荻原隆宏



小澤 浩 政友クラブ



末木咲子 政友クラフ



廣瀬集 政友クラブ



委 員 小沢宏至



委 清水 仁



委 員 深沢健吾



員 中村明彦 公明党



員 植田年美 公明党

ご覧ください 次回の定例会の予定は5ペ

を

甲府市議会ホームページ・Eメール http://www.city.kofu.yamanashi.jp/ shise/gikai/index.html Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp





甲府市議会広報委員会

木内直子

委員長:大塚義久 副委員長:長沼達彦



